私たちは 桐を植林しています

ちます。

成木までに 50~100 年もの時間を有する広葉樹の中 で、成木までに35年と成長の早い桐は、地球上の中緯度

Co2の削減にいち早く貢献し、地球温暖化防止に役立

地域で最もCo2の吸収固定が早い木です。



桐の芽



桐苗木



桐の巨大な葉



3年目



10 年目



15 年目



目指せ70年目! (天然木)

内閣府特定非営利活動法人『桐ささやかな植樹祭』

第一回会津桐植樹祭 御礼

〔植林地〕 福島県大沼郡三島町川井

〔植林樹種〕 会津桐 〔植林本数〕 59本 〔参加者〕 16名

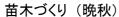
[開催日] 2009年5月17日 午前9時~12時30分



〔第一回会津桐植樹祭までの経過〕

- *2007年11月 会津桐絶滅の危機を知り、三島町に桐植林地を探し始める
- *2008年 3月 福島県大沼郡三島町で、日本初の桐シンポジウムに出席
- *2008年 3月 会津桐苗木の生産開始
- *2008年 9月 植林地の開墾作業、草刈り、雑木伐採を開始
- * 2008年10月 植林地整地、開穴
- *2008年11月 穴中の水抜き、水路作り、植樹用の穴に堆肥・鶏糞・炭粉を入れ、穴を埋め戻す







苗木づくり(初冬)



目指せ!大木









2008年9月・・・植林地の開墾作業、草刈り、雑木伐採



2008年10月…植林地整地、開穴







2008年11月・・・穴中の水抜き、水路作り、植樹用の穴に堆肥・鶏糞・炭粉を入れ、穴を埋め戻す

[2009年5月15日 植樹祭前々日]

* 苗木の状態の確認、苗木運び、地元の方との打ち合わせをしました。





川井の田園風景



桐苗木運び



大学講義終了後、夜遅くの到着でした

[2009年5月16日 植樹祭前日]

- *開穴、穴中土質調査、植林地整備(石、木の枝など危険物を除去)、苗木へ水やり、肥料運び、粉炭運び、テント貼り、看板づくり、必要備品買出し、食用ほおずきの苗床づくりと植苗、懇親会(夕食)。
- * 先発隊5人でがんばりました!



桐苗木の根に水やり



昨年堆肥を埋めた箇所を開穴



植林用穴中の地質調査



植樹祭前日の試験植林



ダウンヒル・・・一度やってみたかった!!

植林木と木の間で行う農業(樹間農業)に、食用ほおずきを予定しているため、植樹祭前日に食用ほおずきの作付けを試みました。



樹間作物(食用ほおずき)苗床づくり



食用ほおずき300苗を植えました



食用ほおずき苗木



成長途中



食べごろ





前夜の懇親会

[2009年5月17日 植樹祭当日]

*2009年 5月17日 雨天のため室内で開会式、地鎮祭、植樹作業、閉会式、後片付け、ご協力いた だいた三島町の皆さんへ御礼。





植樹祭朝、飯塚先生に桐の種類の見分け方のご指導を受ける





地鎮祭

福島会津での会津桐植樹祭を企画してから2年、ようやくささやかな桐の植樹祭を開催することができました。

当日は小雨模様でしたが、4歳のお子さんから84歳まで、16人のボランティアの方々が力を出し合い協力して、2mもある大きな桐の苗木59本を、半日で見事に植え上げました。

この植樹祭にこぎつけるまでには、2年間に渡り多くの方々が縁の下の力持ちになり応援して下さいました。土地の選定、地主さんのご協力、桐苗木生産農家のご苦労、夏の猛暑の中ハチに刺されながらの草刈り、鶏糞と粉炭と堆肥をこねる重労働、汗まみれの炭鉱夫のように真っ黒な顔、顔、顔。うっそうと茂る雑木の刈り込み、11月には雪の中で夜まで続いた開穴、堆肥、炭入れ、整地作業。ご協力をいただいてきた皆さん一人一人の顔を、私は忘れることができません。

通常桐植林では、葉が付く前の1mほどの棒きれのような苗木を植林しますが、今年は暖冬も手伝い、葉が付き芽吹いた1.8mもの苗木を植えることになりました。いつもより重い苗木でした。





苗木の中には1年間の風雪で、大きく曲がったものもありました。これらの苗木は、手をかけ時間をかけて育林した後、来春には根本から一度切り倒します。そしてその切り株から吹いた芽を、1年で樹高2mまで真っ直ぐ育て上げていきます。これを「木を建てる」と呼び、その技術が「台切り」と呼ばれています。



1年の間にしっかりと根を張り成長した桐を、1度根元から伐採することで、根に蓄えられた養分がロケットの発射台の役目を果たし、その後一気に樹高が伸びていきます。

植樹祭当日、雨の用意もままならぬ私たちに、長靴、レインコートなどを貸して下さった地元の方々のご 支援は、とても心強いものでした。

また植林地に掲げた「桐ささやかな植樹祭」の看板は、長さ1.8mもある桐の1枚板に、地元中学生の 絢香ちゃんが、伸び伸びとした素晴らしい筆字で、書き上げてくれました。









誰一人ケガもなく無事に植樹祭を終えることができましたのは、一重に皆様のご協力の賜物と感謝いたします。植林および育林は、自然相手の息の長い活動です。さまざまな挫折や失敗も起こることでしょう。しかし、10年、20年、50年、100年後の日本に、あの美しい桐の花々が見られるよう、皆様の温かいご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

「事務局より御礼申し上げます」

海上典子

第一回会津桐植樹祭へご参加いただきまして、ありがとうございました。NPO設立後初めての植樹祭の中で、私どもスタッフの気が回らなかったところ、手の行き届かなかったところは、ご参加いただきました皆様の真心で支えていただきました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

植樹祭当日は小雨にみまわれ、水分を含んだ土は重く、1本目の苗木を植えるのに、通常の倍ほども時間を要しました。スコップで穴を埋める作業、苗木の余分な葉っぱを落とす作業、苗木を運ぶ作業、ゴミを集める作業、苗木が土に埋まるまで穴の中で苗木を支える作業、土まみれになりながら参加者全員が協力しあい、1本1本の苗木を植えていきました。

子どもたちは大学生のお姉さんとペアを組み、苗木の成長の妨げになる石を運んでもらう作業、小さな

スコップで土をかき分ける作業を、私たちの仲間の一員として嬉しそうに手伝ってくれました。

普段慣れない労働で要領を得ず、初めは戸惑う様子も伺えましたが、2本、3本と植えるうちに、苗木を植えたがるという一つの目標に向かい、自然と体も動き、全員の心が一つになってゆくのを感じました。

そして59本の植樹を終えた時には、疲労が残りつつも充実感に満ち、また都会では味わうことのできない大自然に抱かれた喜び、清々しさを感じ、参加者全員の顔に笑みがこぼれていました。





以前、理事の一人がこう話されました。「ベトナムからパリまで植林をするというのは、夢が大きすぎて現実的な話しではないと思います。ですが夢も持てないこの世の中で、この植樹祭に参加された方々が、ささやかな喜びを感じてくれたら、それでいいのではないでしょうか」。今回の植樹祭を通じて、ささやかな喜びを実感し、このNPOの活動は皆さんと一緒に作り上げていくものだと改めて思いました。









ボランティアでご参加いただいた一人一人の力が紡がれて、地球上に桐と広葉樹のグリーンベルトができてゆくでしょう。桐の植林は、軽作業からハードワークまで幅広く作業がありますので、子どもからお年寄りまで、どなたでもご参加いただけます。皆様お誘い合わせの上、ぜひまたご参加下さい。





どうして土にまみれて桐を植えるのか、どうして遠い地まで桐を植えに行くのか。それは地球環境と私たちの生活に、桐が必要だからです。

広葉樹の中でも成長の早い桐は、地球上の中緯度地方で最もCO2 の吸収固定が早い木の一つです。 桐はCO2 の早期削減に一早く貢献し、地球温暖化防止に役立ちます。さらに桐は成長が早いので、短期 間で広葉樹の植林、育林を学ぶには最適な木とも言えます。また桐は多孔質のため、遠赤外線の輻射、 調湿効果があり、夏涼しく冬暖かい材質です。

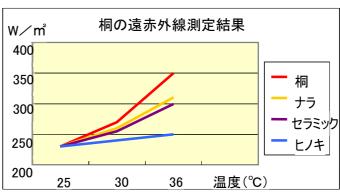
皆様にも桐の良さを体感していただけましたら幸いです。



桐の葉っぱ



桐の顕微鏡写真



36℃(体温と同じ)での遠赤外線の輻射は桐が最も高い



これから毎月1回の草刈り、秋にはウサギ 囲い、植林用の根の採取、純正会津桐の種 拾いを予定しております。

当会では、会員のお申込みおよびご寄付を募っております。お友達、ご家族の皆様にお声かけいただき、今後ともご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。 皆様との再会を楽しみにしております。

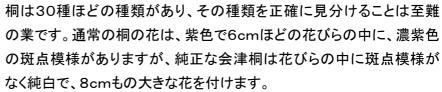
『再訪記』

八木降太



5月24日、私は桐博士の飯塚先生と再び三島町を訪れました。植樹の 後地の確認と、純正な会津桐の古木を探すことが目的でした。

当日は桐の満開から三夜が過ぎ、みずみずしい桐の花が風とともに地面に降り注いでいました。おりしもSL蒸気機関車のイベントと重なり、 汽笛と蒸気にまみれた紫の桐の花が美しく町を包んでいました。



私たちは朝5時過ぎから純正会津桐の古木を探しに、町中歩き回りました。今秋、純正会津桐の種を採取するための下調査です。

風とともに降り注ぐ桐の花を1つ1つ拾い集め、純正会津桐か否か、丸 一日かけて検証しました。その結果判明した純正会津桐は、わずか3 本でした。





今秋この3本の純正会津桐から、種を 採取する予定です。

皆さんもぜひご参加下さい。秋の会津 を満喫しましょう!







植樹祭から約1ヵ月で、人の背丈まで雑草が伸びていました。桐の植林は、植えてからが始まりです。草刈りなど、桐が育ちやすい環境づくりを行います。植林地に足を運ぶ度、様々な神秘的な出会いが待っています。植樹した桐を一緒に育てていきましょう。来年もどうぞ1本桐の木を建ててみてください。NPO『桐ささやかな植樹祭』の仲間とともに。 内閣府特定非営利活動法人 「桐ささやかな植樹祭」

*追記**NPOのホームページ整備が遅れているため、今回は紙面にてご報告させていただきます。